

「青森市財政プラン（2019～2023）ローリング版」及び「令和4年度予算編成方針」の概要

青森市財政プラン（2019～2023）ローリング版

1 財政の健全性維持のための「ローリング版」

◇ 国等の制度改正や毎年度の決算状況を踏まえ、「青森市財政プラン（2019～2023）」のローリングを実施。

2 R5 末 財源調整の「基金」50 億円確保

◇ 財源調整のための基金について、新型コロナウイルスワクチン接種の進捗による経済活動の再開などによる税収の一部持ち直し及びシーリングによる財源確保等により、令和5年度末の基金残高は50億円を確保。

3 R5 末「市債残高」の大幅縮減 △144 億円

◇ 引き続き市債発行額の抑制に努め、H30年度決算と比較して、R5年度末市債残高（臨時財政対策債を除く）は144億円（872→728億円）を縮減。

予算編成方針

1 予算編成の方向性

◇国が示す経済展望などから、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ税収の一定程度の回復を見込んでいるものの、歳入の根幹となる市税収入の大きな伸びは期待できないことから、国や県の交付金の活用など歳入確保に努めるとともに、歳出全般についても不断の見直しにより財源捻出を図っていかなければならない。

◇新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響の長期化により、地方財政を取り巻く環境は厳しさを増している中、将来にわたって安定した行政サービスを提供していくためには、市経済の発展と雇用の創出による税収確保に努め、令和5年度末の基金残高50億円の確保や市債残高の縮減の達成という目標を堅持し、都市間競争力の基盤となる、持続可能な財政運営の確立を図っていく。

2 シーリングによる財源対策と施策の硬直化の抑制

- ◇ 裁量的経費・投資的経費はマイナスシーリング。
- ◇ 投資的経費のうち市民生活密着分※は前年度以内。

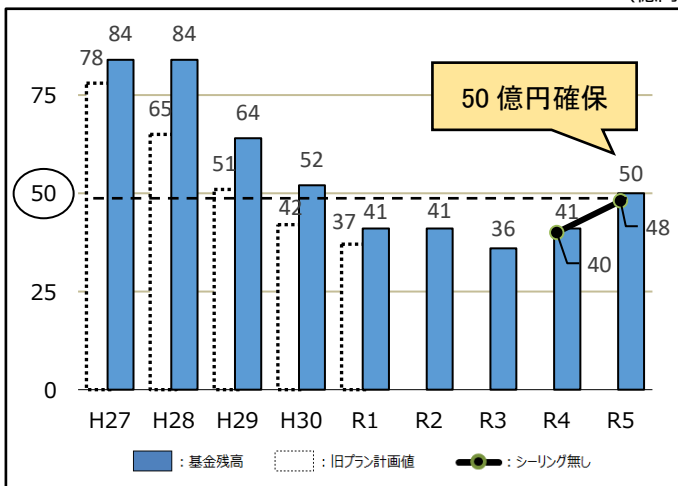
※道路の舗装・側溝、市営住宅及び公園遊具等の修繕など

【R3当初予算】		【R4予算要求枠】	
裁量的経費	投資的経費(単独)	前年度90%以内	前年度90%以内
投資的経費(補助)	一般管理・施設管理	前年度95%以内	前年度以内

一般財源ベース（義務的経費除く）

【グラフ①】財源調整のための基金残高の推移

(億円)



【グラフ②】市債残高の推移

(億円)

